

解 答 速 報



関西医科大学 一般選抜後期

英語 医特

医学部受験予備校

I

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	p	i	l	b	q	f	c	o	j

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
h	b	d	c	d	c	c	a	d	b

21	22
b	c · d

II

23	24	25	26	27	28	29	30	31
b	b	a	b	a	c	b	d	c

32	33	34	35	36
d	a	d	b	e

37	to upload the consciousness of your mind into a computer
38	you would
39	Is mind uploading doable?
40	begun
41	to
42	the uploaded brain
43	This is because people deprived of their senses have trouble sensing their bodily signals and often have mental challenges.
44	Knowing how the brain computes things
45	idiosyncrasies
46	It's hard to express how very far we are from
47	Mind uploading will be a reality only 20 years from now [in the year 2045].
	Mind uploading will be a reality at [by] the end of this century.

behind → beyond	producing → to produce	sticks → stick
next flower → the next flower	have → are	mutually benefit → mutual benefit
in form of ~ → in the form of ~	millions years → millions of years	diversity → diverse
lose → loss	contributed → contributing	harmful → harm
much → many	Despite of → Despite	and also → but also

【講評】

- 1: SciDev. Net 誌の 2025 年 1 月 25 日付の記事 *Climate change fuels drug resistance in poor countries* が出典で、「薬物耐性の増加と地球温暖化との関連性がより甚大な被害を貧国に及ぼしうる理由と背景」を論じた英文。11 カ所の空所に動詞句を挿入する問題、下線部語句の意味特定、空所補充、そして「正しいものを全て選べ」の内容一致問題の出題となっていた。文章断片の挿入を求める昨年の出題から動詞句を挿入する問題に今年の前期からマイナーチェンジし、その形が後期でも出題された。今回は、空所補充にいくつか難しいものがあっただけで、英文自体は読みやすく、空所動詞句挿入も根拠を考えやすかった上に、「正しいものを全て選べ」の内容一致は該当箇所を見つけて正誤判断するもの容易になっており、昨年より（あるいは前期の出題より）易化した。
- 2: The Conversation 誌の 2025 年 5 月 23 日付の記事 *Can you upload a human mind into a computer? A neuroscientist ponders what's possible* が出典であった。「意識作用を持つ人間の脳をコンピューターにアップロードすることはできるのか？」について論じた英文であった。True/False 型の内容一致の出題は昨年と同様に 5 問であり、下線部語句の意味特定問題、空所補充問題、動詞変化問題、整序問題の出題は例年と同様であった。しかし、例年の大問 2 と比べると、純粋に英文の読解難易度が上がった上に、下線部の指示内容説明の記述問題では、英文中からのただの抜き出しではなく、書かれている内容を噛み砕いて自分で英文にまとめ上げる力が一部必要となっており、例年よりやや難化していた。ただし、True/False の内容一致問題、下線部語句の意味特定問題、空所補充問題は本文難易度アップとは関係なく解きやすいレベルだったので、難解な英文箇所に惑わされず、いかに落ち着いて問題を解くことができたかが合否の分かれ目になるだろう。
- 3: ここ数年大問 3 では自由英作文の出題が続いたが、今年の前期から自由英作文ではなくなり、「示された英文内にあるミス全てを特定する」問題へと姿を変えた。（印象としては、受験生が作文中で犯しやすいミスを訂正していくような問題、あるいは誤箇所指摘問題に近いように見受けられる。）ミスの種類としては、動詞の形（時制・数・準動詞の選択）のミス、名詞の単複のミス、品詞のミス、前置詞や群前置詞の誤用などが中心。さほど難しいわけではないが、このような問題は他の大学にはなく、受験生も解き慣れていないことから、日頃の英作文の練習の中でどれだけ緻密に「正しい英文」を追求してきたかが得点奪取のポイントになるだろう。

大問 1 は明らかに難易度が下がっていたが、大問 2 はやや難化していることから、総合すると合格ラインは昨年と同じく 65% 程度と考えられる。



メルマガ登録（無料）または LINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



渋谷校 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋校 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F	大阪校 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第 1 ビル 3F
個別専門館 麹町 FC 校 TEL : 03-6272-4175 東京都千代田区二番町 8-20	提携校 医学部特訓塾 TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F	